

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	さくら看護専門学校
設置者名	学校法人東洋育英会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://snc.skr.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://snc.skr.ac.jp/
財産目録	https://snc.skr.ac.jp/
事業報告書	https://snc.skr.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://snc.skr.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	103 単位時間	80	0	23	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		単位時間	103		単位時間		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		68 人	0 人	8 人	75 人	83 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

座学と実習の組み合わせや、実務経験のある教員の指導、外部の講師を招き、より実践に使い授業を取り入れる。
年間の授業計画は、教職員会議等で学生の成績や意見、実習先機関からの意見等の振り返りを行い検討する。1月～3月に各担当講師が授業計画を作成し、年度当初に公表する。
年間の基準授業週は41週とし、1週間の授業時間は30時限程度となる。
総単位数の内訳…1年次：45単位、2年次：39単位、3年次：19単位

成績評価の基準・方法

（概要）

規定出席率を充足したうえで、各科目の終了に際して原則的に終講試験を行う。試験の形式は筆記試験、実技試験、レポート課題等により実施する。
実習の評価は、各科目の終了時に担当教員が各実習施設の実習指導責任者と協議し、所定の評価表を用いて評価を行う。
いずれも下記の「優」から「不可」の4段階評価において履修科目ごとに認定する。

・評価

優	評価	80点以上
良	評価	70点以上80点未満
可	評価	60点以上70点未満
不可	評価	60点未満

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>履修科目の単位認定は、単位認定会議において行う。原則として以下の条件を満たす者について単位を認定する。単位認定は、前期・後期ごとに行うこととする。</p> <p>1. 各科目の評定が「可」以上の成績で得ること、並びに出席日数等（3分の2以上の出席）の基準を満たしていること。</p> <p>2. 卒業認定については1.の条件に加え、卒業基準試験を実施し、基準を満たしていること。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任制と学習サポート教員（チューター制度）を導入する。</p> <p>定期的に面接を行い、教員間で情報を共有しながら学生一人一人が持つ強みに着目し、国家試験合格に向けて支援する。また、スクールカウンセラーを配置し、メンタル面のサポートにも配慮していく。</p> <p>電子黒板、eテキストを導入し、ICTの活用環境を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (#DIV/0!)	人 (#DIV/0!)	人 (#DIV/0!)	人 (#DIV/0!)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項) ※2024年開校につき、まだ卒業生が出ていない。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31 人	2 人	6.5 %
(中途退学の主な理由)		
単位不認定、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
個別面談の実施、保護者面談の実施、家庭訪問の実施、基礎学力強化のための個別サポートの実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000 円	600,000 円	250,000 円	その他(施設設備費、実習費)
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度：学費免除50万円、30万円、20万円、10万円 家族割引制度：学費免除10万円 進級時特待生制度：授業料10万円を返還 【入学金・学費の納入方法】 入学金…入学手続き時に一括納入 学費…一括納入を基本とするが、申請者に対し分納を認める (3分割以上の場合は連帯保証人の設定が必要※、期限は例年2月上旬) ※留学生除く				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.skr.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
関連業界等の役員または職員、卒業生、教育に関し知見を有する者等で構成し、学校関係者評価委員会にて学校が行った自己評価の結果報告を受け、意見等をまとめ報告書を作成する。教職員は結果報告後直ちに、継続的に結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に努めていく。その責任者は学校長とする。 評価項目：(ア) 教育理念・目的・人材育成 (イ) 学校運営 (ウ) 教育活動 (エ) 学修成果 (オ) 学生支援 (カ) 教育環境 (キ) 学生の受入れ募集 (ク) 財務 (ケ) 法令等の遵守 (コ) 社会貢献・地域貢献 (サ) 国際交流		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 常務取締役	2024. 4. 1～2026. 3. 31	理事
県立高等学校 元校長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	教育に関し知見を有する者
病院 職員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生 (関連業界の職員)
消防本部 職員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生 (関連業界の職員)
特別養護老人ホーム 施設長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	関連業界の役員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://snc.skr.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://snc.skr.ac.jp/>